

# 留学体験レポート

国際学部二年 吉田 遼平

## 1. はじめに

私は4ヶ月間アメリカのセントラルミズーリ州立大学に留学していました。目的は英語の語学スキルの向上で、将来に生かせる様な生きた英語を習得することです。そこでは今まで日本では体験出来なかったような出来事が数多くあったので、その中で特に印象深かったいくつかをここで紹介したいと思います。

## 2. アメリカでの初日

いざ飛行機に乗り込みそしてアメリカにつく前は、胸は不安でいっぱい少しナーバスな気持ちになっていました。本当に4ヶ月も親元を離れやっていけるのか、ちゃんと異国の地で外国人とコミュニケーションがとれるのかなどばかり考えていましたが、アメリカの空港に到着するとその不安を全て払拭するようにアメリカの教員の方が笑顔で迎えてくれました。そして学校へ向かうバスに乗る頃には夢だったアメリカでの留学に期待に胸を膨らませていました。

## 3. 寮について

学内には寮が何棟かありますが基本的には私たちはみな同じ寮に入りました。一階にはラウンジがありそこにはテレビやビリヤード台そして横にキッチンがあり共同スペースとなっていました。部屋は2人1部屋で自分たちの場合は希望すれば外国人と相部屋にすることができるシステムでした。バスルームとトイレは隣の部屋の人と共用です。

## 4. 授業

授業は事前に受けたテストの結果により4つのクラスに分かれ行われます。そこでは他の国から来た留学生と一緒に授業を受けます。私のクラスは主に韓国人と中東系の方々が主な留学生でした。授業はリーディング、グラマー、ライティングなどそれぞれに特化した形で行われクラスメイト同士で協力やディスカッションなどをして授業を進めます。

## 5. 大学での生活

基本的に金・土・日曜日は毎週3連休になります。もちろん学内の食堂は休日も空いているので3ヶ所の中から好きなところに行けます。主にメニューはピザやハンバーガーなどですが中華料理も多くありアジア系の食事をする事ができます。しかし課題が毎日たくさん出されるのでそれに追われることになります。他にもジムやスターバックスも学内にあるのでそれらを利用することで休日にリフレッシュすることができます。

## 6. 終わりに

この留学で英語以外にも文化面でとても多くのことが学べました。それも全部この留学に行かせてくれた両親と学校のおかげで、とても感謝しています。なかなか体験できない様な海外での生活で最初は全てが不安でしたが、今はより広い世界の視野を手にしこの経験全てが自信になっています。留学に行こうか悩んでいる人たちには声を大にして行くべきだと勧めたいです。出来ることならもう一度アメリカに留学したいと思うほどです。こう思わせてくれる経験をさせてくれた家族とサポートしてくださった学校側のすべての皆さんに感謝しています。

